



猟友会会長、能代警察署からのご挨拶で開始。



大高氏は実写や動画を駆使して熊の生態を解説。

平成29年9月6日(水)15:30~16:30  
3階会議室で職員対象の熊被害防止教室  
が行われました。当院研修・研究発表委員  
会主催。

講師は山本地方連合猟友会会員  
大高博康氏

テーマは熊被害の「今年の傾向と対策」。  
当院は恵まれた自然環境の中に立地しており、同時に  
熊被害の危険もはらんでいます。

今年には県内の熊目撃が過去最多になる見込み。  
一昨年、ブナの実が豊作だったことから若グマが全県  
的に多くいるとのこと。

今のところ警察への届け出は約900件だそうです。  
大高氏は県内の熊の種類、その生態等についてわかり  
やすく解説を展開した後、最近の熊捕獲の実例も報告。  
熊被害の防止方法として決定的なものはないが以下の  
ようなアドバイスをいただきました。

- ・ 熊と出会わない
- ・ もし熊と出会ってしまったら、ゆっくり後ろにさがり  
立ち去る。背中をみせると追いかけてくる。
- ・ 小熊を見かけても近づかない。近くに母熊が必ず  
いる。
- ・ 熊は鈴や音にはもう平気だ。
- ・ 熊は発酵食品、刺激臭が好物。ビールとか塗料。  
野外に放置しないように。香水にも敏感。
- ・ 熊は顔を襲ってくる。最終的には戦うしかない。